

事業者における放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：令和4年3月31日 事業所名：オレンジスクール 東戸塚教室 単位2（東戸塚第3教室）

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内 容又は改善目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用定員を超えないようご案内しています。また、感染症予防の観点から密を避けてご案内しています。	法令順守しています。
	② 職員の配置数は適切であるか	○			法令順守しています。ご利用されるお子様の対応状況等に合わせて適切な職員配置に努めております。	法令順守しています。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		学習・療育活動スペース内に段差はありませんが、トイレとお手洗いに一部段差があります。	必要に応じてお子様の移動のサポートや声掛け、掲示を行います。
業務改善	④ 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			申し送りや日誌にて共有事項や支援内容を記録しています。また、適宜ミーティングや伝達タイムを設けています。	今後も継続していきます。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者の方には今後、毎年放課後デイサービス自己評価表アンケートにご協力いただくことで、事業内容の改善に活かしていきます。	今後も継続していきます。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			オレンジスクールHPにて公開しています。	今後も継続していきます。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在はお家族・事業所の二者評価です。	今後必要に応じて第三者による外部評価を検討します。
	⑧ 職員の資質を向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			社内・社外で様々な研修を実施しています。発達障害支援・理解研修他、防災、虐待、個人情報保護、意思決定支援、感染症研修などがあります。	今後も継続していきます。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントは年1回更新しています。また普段からお子様や保護者様からご様子を聞き取りながら支援計画作成を行っています。	今後も継続していきます。お子様や保護者様とお話するチャンスを積極的に作ります。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントシートは、事業所内で統一されたものを利用しています。	今後も継続していきます。必要に応じて質問事項の追加等を行います。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			個別支援計画や利用毎の申し送り事項を元に、全職員で教材や活動計画を準備・更新しています。	ミーティングの機会を増やし、さらに充実した支援が行えるようにします。
	⑫ 活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	○			その時のお子様にとって必要な課題を都度摸索・実践しています。保護者の方からご相談を受けた内容について、お子様にかかる負荷の大きさを検討しつつ出来る限り活動に取り入れています。	活動の中で興味関心を広げられるよう、新たな課題や療育を定期的に取り入れていきます。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		お子様の利用曜日・時間・頻度が違うため、活動内容に家庭毎の差が極力でないよう取り組んでいます。	長期休暇等では、保護者の方のニーズを踏まえつつ、お子様がさらにオレンジスクールを楽しめる活動を今後検討していきます。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			お子様の負担にならない程度に、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて支援をしています。	今後も継続していきます。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援開始前に役割分担、申し送り事項の振り返り・本日の支援での留意点についての確認を行っています。	今後も継続していきます。

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		その日の活動について申し送りやヒヤリハットを記録することで、共通の認識や適した支援ができるよう努めています。	今後も継続していきます。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		その日の活動について、行った内容、見えた課題、職員が行った支援方法を記載しています。	今後も継続していきます。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		最大6か月スパンでの目標を設定し、目標達成に向けて計画の更新を行っています。	今後も継続していきます。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っているか	○		個別支援計画をもとに、お子様一人一人の課題や成長に合わせた支援を行っています。	今後も継続していきます。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○	現在相談支援事業所を利用しているお子様はいらっしゃいません。	必要に応じて児童発達支援管理責任者や担当指導員が参画します。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○	保護者の方を通じて学校の帰宅時間や活動内容を聞き取らせていただいています。また、学校―保護者間の連絡ノート等を通じてお子様の学校での様子の理解に努めています。	情勢を踏まえ、電話等を通じて学校でのお子様の活動や様子について聞き取りを行っています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	現在事業所にて医療的ケアを必要とするお子様はいらっしゃいません。てんかんなどの疾患については職員間で情報共有をし、緊急医療機関の把握をしています。	必要に応じて主治医との連絡体制を整えていきます。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		児童発達支援事業所と連携し情報共有を行っています。また、インタークの際に就学前の支援計画等を提供いただいています。	今後も継続していきます。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	該当のお子様がいらっしゃいません。	必要に応じて情報提供をおこないます。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		定期的に研修に参加しています。	今後も継続していきます。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	外部交流は現在行っておりません。	ご家庭の要望や社会情勢、事業所の体制を踏まえ、慎重に検討していきますが、現時点で実施の予定はありません。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		○	設立されて1年の事業所のため、まだ機会が少ない状況です。	開催時は積極的に協議会に参加いたします。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		日頃から送迎時やライン、電話等でお子様の状況や課題についての情報交換を行い、共通理解を図っています。	今後も継続していきます。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	事業所としてセミナー等の開催はしていませんが、ご相談があった際には考えられる適切な対応を検討し、お伝えしています。	今後も継続していきます。また、現実的なご提案ができるよう、さらなる知識と技術の向上を目指します。
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約の際に運営規定、支援内容、利用者負担額についての説明をしています。	今後も継続していきます。また、よりわかりやすい説明ができるよう努めます。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		ご相談があった際は、必要に応じて職員でよりよい対応や助言を確認した上でご返答しています。	今後も継続していきます。また、よりよい助言や支援ができるよう、さらなる知識と技術の向上を目指します。

保護者への説明責任等	⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	父母の会や保護者会は現在行っておりません。	ご家庭の要望や社会情勢、事業所の体勢を踏まえ、慎重に検討していきます。
	⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情があった際は、お子様への支援や職員体制の調整を図りながら、可能な限り迅速かつ真摯に対応いたします。	事業所の運営や支援内容に疑問が生じた際はその都度ご連絡ください。
	⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			月に1回のお便り、月に2回のブログ、月に6回のグーグルビジネスの更新にて、ご連絡や教室の出来事、取り組みを発信しています。	今後も継続していきます。
	⑮	個人情報に十分注意しているか	○			毎年個人情報の取扱いに関する研修を行っています。また、書類の棚は鍵を閉めています。	今後も継続していきます。
	⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			ご家庭からのご相談には迅速な対応を心がけています。	今後も継続していきます。
	⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	地域の方を招いた行事運営は行っておりません。	ご家庭のニーズや事業所の体勢等を踏まえ、当面は現在の活動内容を継続していきます。
非常時等の対応	⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			契約時に当教室の緊急時対応、防犯対応、感染症対応についてご説明しています。また、マニュアルは教室内で作成し掲示・教諭しています。	情勢に応じて資料を更新し、最新のものを周知できるよう心掛けていきます。
	⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年に2回、火災時、震災時に備えた避難訓練を行っています。	今後も継続していきます。
	⑳	虐待を防止するために、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			毎年虐待防止のための研修を開催しております。また、必要に応じて研修内容のリマインドを行っています。	今後も継続していきます。
	㉑	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定をし、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			契約時に身体拘束について説明をし、同意の署名をいただいております。	やむを得ず身体拘束を行った場合は、HUG活動記録に記載いたします。また、活動記録の既読を促すため、ラインなど日常連絡ツールでも一報いれます。
	㉒	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	食事やおやつ提供はありません。	今後も提供の予定はありません。
	㉓	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			日誌にて毎日共有しています。	今後も継続していきます。

○この「事業所向け放課後等デイサービス自己評価 集計（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等向け放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：令和4年3月31日 事業所名：オレンジスクール 東戸塚教室 単位2（東戸塚第3教室）

保護者数（児童数）：41（43） 回収数：33 割合：80%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	30	3	0	・活動時に見ていないのでわかりません。	・学習と療育は場所を分けて活動しています。特に療育時は十分な広さを確保し、各集団が適切な距離を保ちながら活動しています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	28	4	0	・活動時に見ていないのでわかりません。	・法令を遵守し配置しています。また、有資格の職員が支援にあたっています。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	17	13	2	・見ていないのでわかりません。	・階段には手すりが設置してあります。階段の工事をを行い、床には滑り止め加工が施されています。 ・エレベーター等がなく、階段の昇降で不便をおかけしております。お子様の身体状況に合わせ、適宜サポートさせていただきます。
適切な 支援提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	31	2	0	・保護者が気づかない部分の効果的な支援内容課題等を逆に提案してほしい。	・日頃の支援方法や課題について、効果的と感じたものはより具体的にHUG活動記録に記載できるよう心がけていきます。必要に応じて、支援計画に取り入れる形で提案させていただきます。
	⑤	活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか	25	6	1	・本人が似たようなプリントをやりたがるので難しいとは思いますが、SSTのプリントや読解問題など、様々なタイプのプリントをやらせています。	・SSTや読解問題について、お子様の状況に合わせた内容を検討をしていきます。 ・お子様が自然と手が伸ばせるよう、課題や興味等に合わせた教材を準備・作成できるよう教材作りを工夫させていただきます。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	必要 9	11	不必要 12	・コロナが落ち着けば… ・コロナ禍にあるため不必要。 ・コロナが終息したら機会があると良いと思います。 ・学校のクラスで交流があるので、特に希望していません。 ・学校生活や習い事で充分です。	・「どちらともいえない」「不必要」のご意見が多数であること、コロナウイルス感染症予防のため事業所全体として不特定多数との接触の機会を制限していることから、見送らせていただきます。
保護者への 説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	30	3	0		
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	28	4	1		
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	26	7	0	・6か月の計画時以外にも、2か月、1か月に一度、希望する保護者のみでも面談（電話等）あったら嬉しいです。	・ご相談は随時受け付けております。対面での面談他、送迎時、お電話、ラインなど、日常の相談事やお子様の状況の変化など、お気軽にご相談ください。支援の参考にさせていただきます。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	必要 9	11	不必要 13	・現時点で必要性を感じておりませんが、今後はわかりません（進学・就職） ・もう少し先生と保護者で話ができるとよりよいと思います。 ・コロナの状況次第でしょうか。	・父母会の開催は現在予定しておりませんが、面談や送迎時などのタイミングで、各ご家庭の不安や困りごとを聞き取っていただけるようお声掛けさせていただきます。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	22	9	0	・そのケースに出くわしていない。 ・苦情を言うようなことがなかったため対応はわかりません。 ・その状況になったことがないので現段階では判断できませんが、適切に対応していただけていると思っています。	・お子様、保護者様から苦情があった際は、対応フローに沿って迅速かつ真摯に対応してまいります。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	29	3	0		
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	29	3	1		

非常時等の対応	⑭	個人情報に十分注意しているか	31	2	0		
	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	31	2	0		
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	30	2	1	・わかりません。	・毎年8月に火災時、3月に震災時の避難訓練を行っています。実施前に日取りをご連絡させていただいております。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	28	5	0	・いつも楽しみにしています。	・オレンジスクールへの通所を楽しみにしてくださっていること、大変嬉しく思います。今後もお子様が安心・安全に通所し、学習や療育における達成感や楽しさを得られる支援を工夫していきます。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	30	3	0	・もう少し預かる時間が長ければ助かります。 ・利用時間がコロナ禍で限定されているが、感染が落ち着いたらもう少し長く利用できると嬉しいです。 ・できれば状況を宥越し等で見れたら良い。 ・先生とのやりとりの様子を見学したことがないので、見学できる機会、ビデオに撮って後日見せて貰うなど、あったら希望したいです。 ・手厚く、個々に合わせたトレーニングに大変満足しています。マンツーマンであることで、本人も話を聞いてもらえる安心感からか通所を嫌がることはありません。今後は複数でボードゲームをやるなどして、コミュカを学んでいけたらと思います。 ・子供にあったサービスを提供していただけると感じます。とても満足していますし、感謝しています。本当にありがとうございます。	・コロナウイルス感染症予防のための利用時間短縮にご協力ありがとうございます。ご利用時間に関して、ご迷惑をおかけしております。社会情勢から、今後もしばらくは継続させていただくことをご容赦ください。 ・お子様の活動状況につきましては、HUGでの記録に加え、面談時やご送迎時に、お子様のご様子を詳細にお伝えできるよう努めてまいります。 ・嬉しいお言葉をありがとうございます。職員一同、よりいっそうの知識・技術の向上を目指し、お子様の状況や成長に合わせた支援を行ってまいります。

○この「保護者向け放課後等デイサービス評価表 集計（公表）」は、保護者の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業者の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

職員による自己評価

A 環境面

- ・事業所内に段差はないがトイレやお手洗いに一部段差がある。
- ・2階までの階段には手すりやすべり止め加工が施されている。

B 業務改善

- ・内部・外部研修で研鑽を積み、職員の資質向上を図っている。
- ・適宜ミーティングを行い、職員同士の意思疎通を行っている。

C 児童への支援内容

- ・お子様の様子や支援方法の共有を日ごろから行い、個別支援計画の作成に活かしている。
- ・子どもの気持ちに寄り添うためリフレッシュの時間を設けながら支援を行っている。

D 関係機関との連携

- ・今後児童部会への参加をしていく。
- ・保護者を通じて学校の様子や療育センターでの検査結果の共有などを行っている。

E 保護者への説明責任・信頼関係

- ・契約時に運営規定その他必要事項について説明している。
- ・HPやおたより、ブログやグーグルビジネスを通じて連絡や活動報告を行っている。
- ・ライン等を活用し事業所外での活動把握に努めている。

F 非常対応

- ・年二回避難訓練を実施している。
- ・研修や委員会を通して研修を実施している。

保護者による評価

A 環境面

- ・バリアフリー化について、「どちらともいえない」「いいえ」の意見が「はい」と拮抗した。
- ・上大岡など通いやすい場所にあると嬉しい。

B 児童への支援内容

- ・保護者が気づかない部分の効果的な支援内容課題等を逆に提案してほしい。
- ・SST のプリントや読解問題など、様々なタイプのプリントをやらせたい。
- ・障害のない子どもとの活動機会については、学校生活や習い事で充分。

C 事業所からの情報発信

- ・支援計画更新時以外にも、相談の機会があれば嬉しい。
- ・現時点で必要性を感じていないが、進学・就職の時はわからない。
- ・今までに苦情相談をしていないため不明。

D 非常対応

- ・わからない。
- ・「非常災害の発生に備えた避難訓練の実施」について「いいえ」「どちらともいえない」の意見が少数見受けられた。

E 満足度

- ・もう少し預かる時間が長いとありがたい。
- ・活動の様子を見学したい。
- ・手厚く、個々に合わせたトレーニングに大変満足している。
- ・話を聞いてもらえる安心感から通所を嫌がることはない。

事業所内での分析

【共通点】

- ・お子様が事業所での活動に安心感をもって参加できるよう支援をしている。
- ・日々の活動報告に加え、送迎時や日常連絡ツールを通してお子様の状況を把握しながら支援方法を検討できている。

【相違点】

- ・面談時以外にも気軽に相談できる機会がほしいという意見があった。
- ・預かる時間や見学についてのご意見があった。
- ・非常対応について把握できていないという意見があった。

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ・活動スペースが広いため小さな集団が複数形成でき、それぞれが広々と活動できている。
- ・興味関心に沿ったオリジナル教材を作成したり、個々の課題や目標にあった「プリント以外のトレーニング」取り入れたりすることで、活動に前向きになれる支援が提供できている。
- ・来所・退所連絡を行うことで、お子様の状況を保護者が把握できるようにしている。
- ・定期的な研修を行い、職員の資質向上を図れている。
- ・利用毎に申し送り事項を記載することで、次回来所時の留意事項や支援方法の共有ができている。

事業所の改善点

- ・避難訓練の実施予告・報告を含め、日々の活動や取り組みについて、積極的な広報活動を行う必要がある。
- ・個別支援計画の面談時だけでなく、様々な職員が保護者と積極的な関わりを持ち、お子様の日ごろの様子や把握・活動内容の伝達に努める。
- ・保護者の方へ適切なアドバイスができるよう、それぞれの得た知識をお子様の現状と照らし合わせながら、よりよい支援方法を検討する。

事業所の改善への取り組み

- ・事業所で行っている広報活動の種類や見られる場所について、おたよりに定期的に載せたり、教室掲示をしたりなど、保護者への周知の仕方を工夫する。
- ・面談時以外にも気軽に相談できる環境を整えられるよう、様々な場面でご家庭の様子を聞き取っていく。また、様々な職員が保護者と関わりを持ちながら、活動の様子を詳細に伝えられるよう努める。
- ・保護者に適切な助言・提案ができるよう、外部研修に積極的に参加し職員一人ひとりが知識・技術向上ができる機会を得られるようにする。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

2021年の4月に開所して以降、保護者の方には当事業所の業務運営につきましてご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。開所して初めてのアンケートとなりますが、高い評価や様々なご意見・ご感想をいただきました。大切なお子様の成長過程に、一事業所として関わっていることを自覚し、より身を引き締める貴重な機会となりました。お子様がより楽しく、より充実したオレンジスクールライフを送れるよう、職員一同さらに研鑽を積み、支援につなげてまいります。また保護者の方にはさらにご満足いただけるよう、日々の情報共有や活動内容・支援内容の発信に努めてまいります。

事業所名 オレンジスクール 東戸塚教室 単位2（東戸塚第3教室）
担当者 島川 碧